

気仙沼観光マーケティングレポート(令和4年4月～6月)

※季刊マーケティングレポートは3か月分のデータをまとめて発刊しております。次回発刊は11月を予定しております。(7月～9月分)

◆トピックス

- ・宿泊者数は、前年同時期比 115.2%で増加した。前期と比べ「観光・ビジネスの宿泊」が増加し、「復興関連」は減少した。旅行形態として、「夫婦2人での旅行」が最も多く、目的としては「食・グルメ」が最多であった。これは前期と同じ結果であった。
- ・主要物販施設の利用人数は、前年比で 111.2%、観光施設の利用人数は 149.1%と増加した。
- ・体験の利用人数、利用金額は、震災語り部での集客が大きく、共に前年より増加となった。
- ・観光案内所利用人数は、同時期前年比で 112.8%と増加した。

1. 宿泊

<宿泊施設トピックス>

- ・宿泊者数の前年比は、4月で 113.6%、5月で 133.2%、6月で 99.9%であり、6月以外は前年を上回る結果となった。
- ・「観光・ビジネス」の宿泊者数の前年比は、4月で 149.3%、5月で 150.2%、6月は 112.9%であった。全ての期間で前年を上回る結果となった。
- ・「復興関連」の同月前年比 4月は 8.6%、5月は 10.1%、6月は 10.7%と大幅に減少した。
- ・宿泊者居住地は、宮城県(46.0%)が最も多く、次いで関東地方(23.0%)、東北地方(14.8%)であった。4～6月と宮城県の割合が減少している。
- ・予約経路の割合では、4月はOTAが最も多く、5～6月は直接予約が最も多かった。5月はRAGTの予約割合が増加した。

(1) 宿泊者数

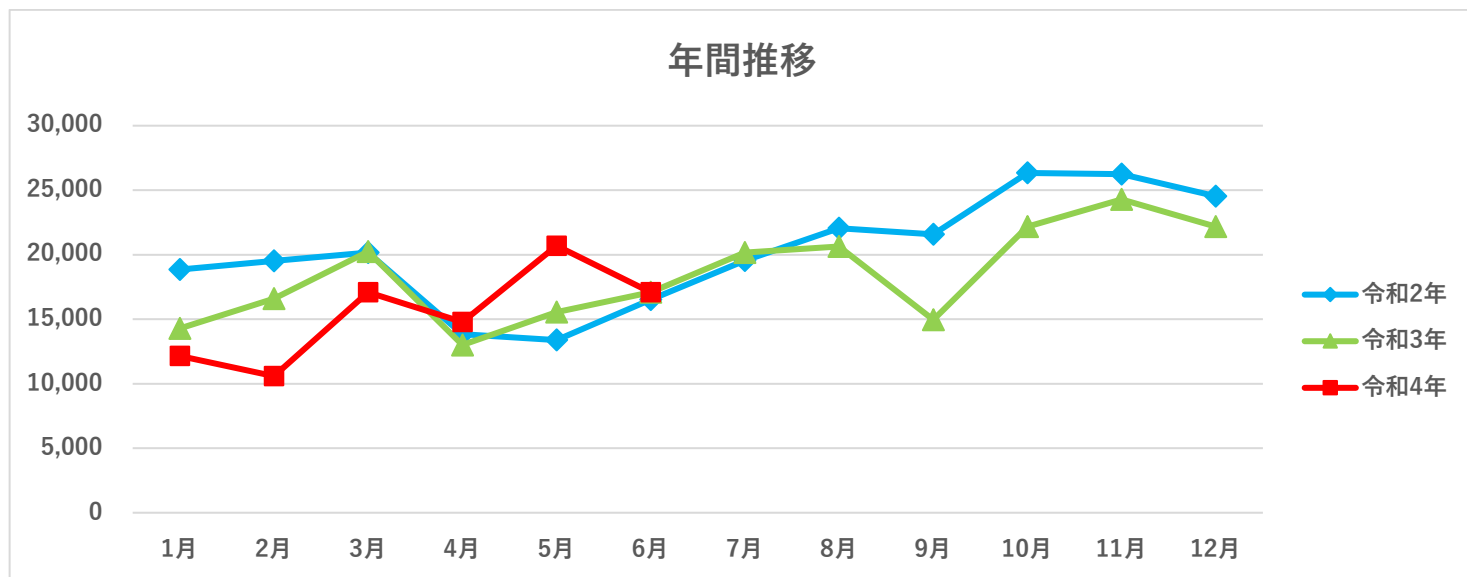
① 同月前年比

(単位:人)

宿泊者数	令和2年				令和3年				令和4年			
	4月	5月	6月	期間合計	4月	5月	6月	期間合計	4月	5月	6月	期間合計
観光・ビジネス	6,147	6,513	9,543	22,203	9,711	13,648	14,918	38,277	14,494	20,504	16,849	51,847
復興関連	7,693	6,867	6,982	21,542	3,294	1,890	2,176	7,360	282	191	232	705
合計	13,840	13,380	16,525	43,745	13,005	15,538	17,094	45,637	14,776	20,695	17,081	52,552

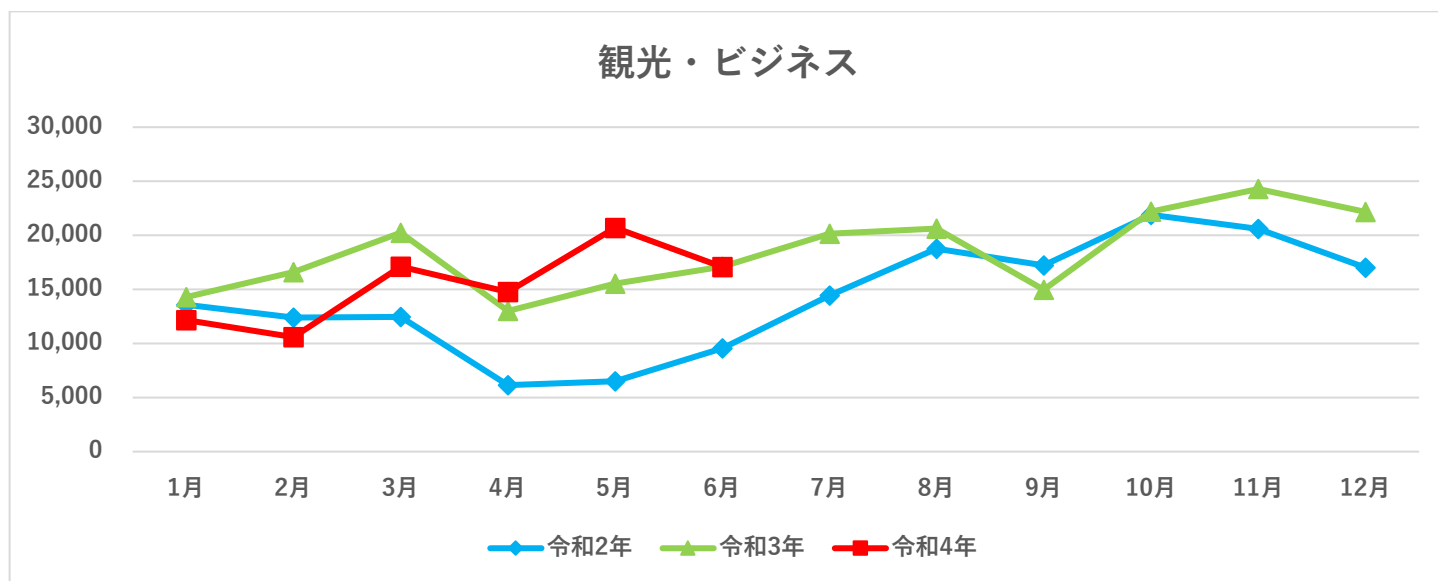
② 年間推移(合計)

(単位:人)



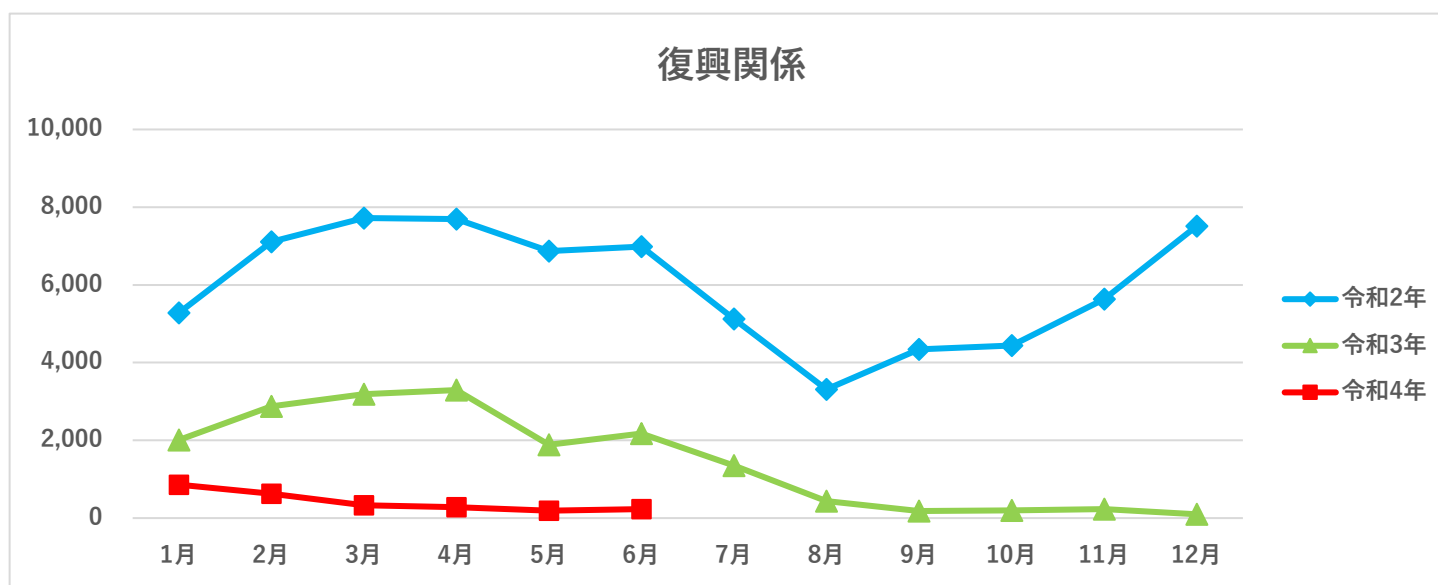
③年間推移(観光・ビジネス)

(単位:人)



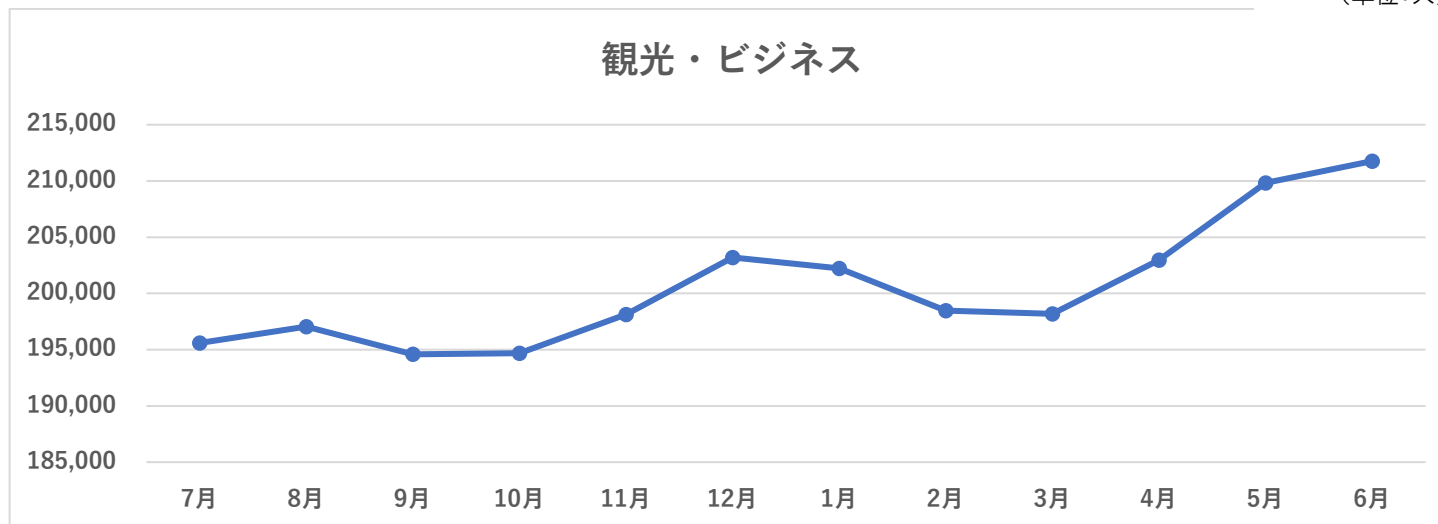
④年間推移(復興関係)

(単位:人)

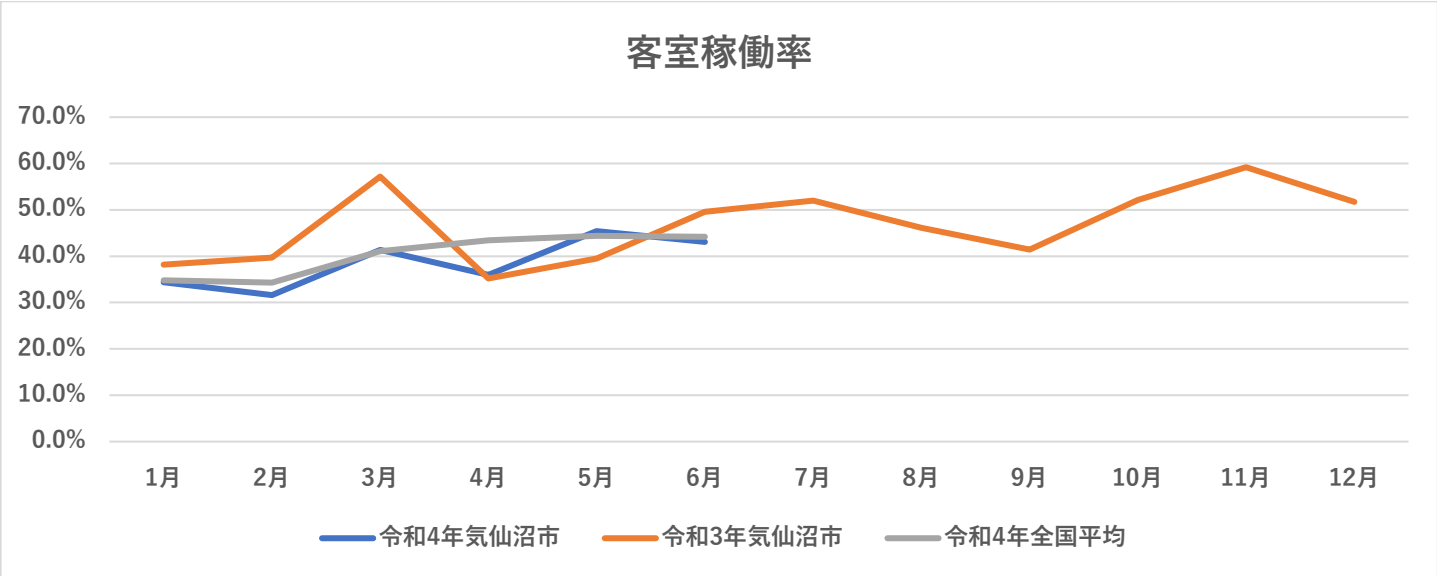


⑤移動年計(観光・ビジネス)

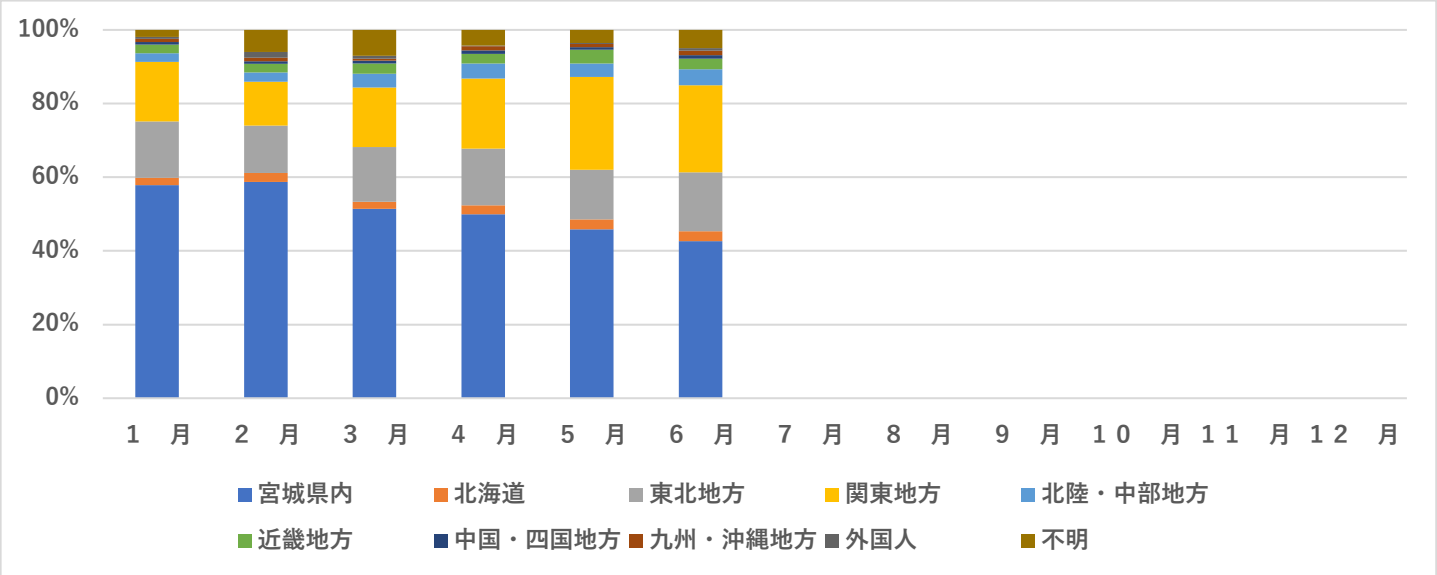
(単位:人)



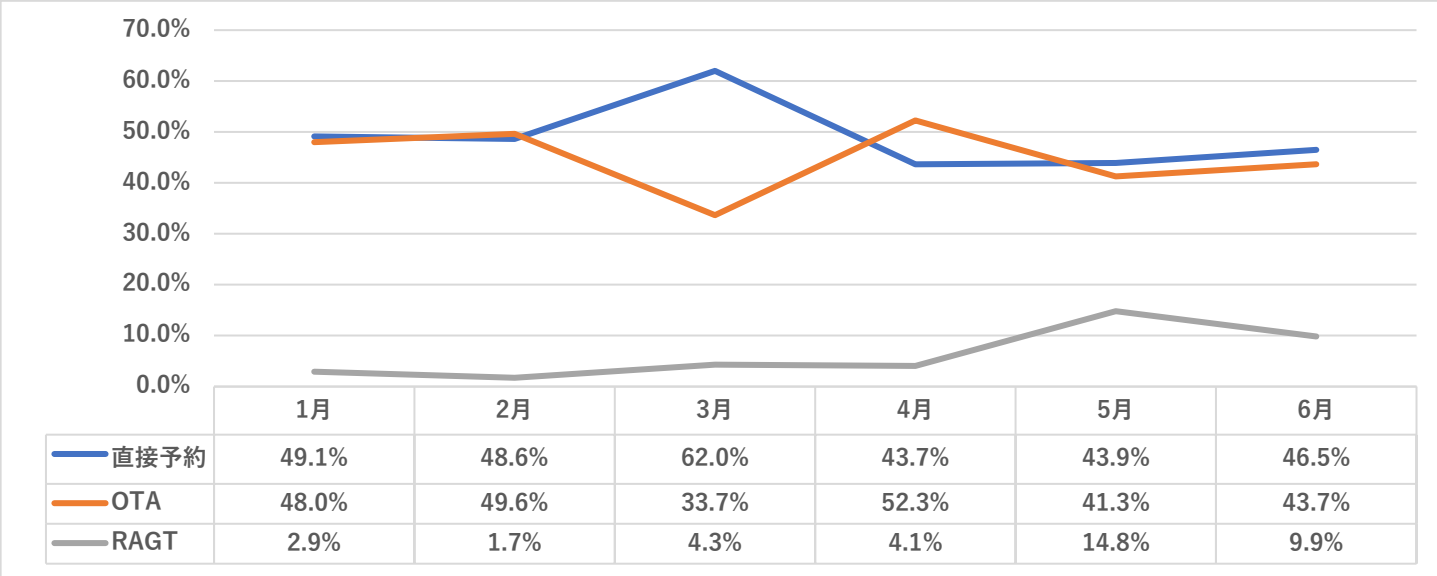
(2)客室稼働率 ※令和3年度全国平均は、観光庁宿泊旅行統計調査(令和3年・年間値(速報版))より《参考データ》



(3)宿泊者居住地



(4)予約経路



OTA：店舗を構えず、インターネット上で取引を行う旅行会社のこと。Online Travel Agent の略。

RAGT：実際に店舗を構えて取引を行う旅行会社のこと。Real Agent の略。

<4～6 月中の宿泊施設からのコメント>

- 4 月:「みやぎ割りを利用しての東北北海道ブロック内容が多くなっているのは変わらず、先月の地震で首都圏からの予約がなかなか入らなかったが、4/14～全線開通という報道があり、首都圏からの予約も入り始めた」「教育旅行も宿泊受入れがスタート」、「コロナと新幹線の運休で延長になっていた団体様の予約が月末あたりから動き出した」「県民割による影響もあるが、夕食付プランだけではなく、朝食付き、素泊まりプランの単価も上昇し、現段階では厳しい情勢に順応できている状況」
- 5 月:「GW 期間中はコロナ前同様に賑やかな感じで、ピークは 5/3～4、5/5 以降は 5/6 が平日ということもあり縮小した」、「ゴールデンウィーク後は一旦落ち着いたが観光や学生の団体様の利用もあった」「昨年同月との比較では、今年は大幅に売上が上昇したが、2019 年との比較では売上は微増で着地した」「5 月は GW 以降閑散期といわれているが、徳仙丈山の満開時期やウニの開港、カツオの初水揚げの影響もあり、今年の5月は繁忙月となった」
- 6 月:「引き続きのみやぎ割りの支援で助けられており、6 月末まで延長と発表があつてからは 6 月の予約が急加速で伸びた状況であった」「人数ベースで見るとみやぎ宿泊割の影響により県内客が多い印象を受けるが、売上ベースでみると県内客と首都圏客の売上はほぼイーブン。首都圏方面のお客様は単価が高く、今年は室人数も多い予約も取り込めたため、この調子で単価をあげたい」「みやぎ宿泊割は平日の稼働 UP や単価上昇には効果はあるが、『安くなるから利用する』という動機付けによる予約獲得となるため、ロイヤリティ顧客を増やす観点で、宿泊割の販路は『公式 HP 予約のみ』に切り替えた」

2. 気仙沼市への来訪者分析(出処:気仙沼市内観光客実態調査 調査期間:5 月全体:n=364)>

<気仙沼市内観光客実態調査>

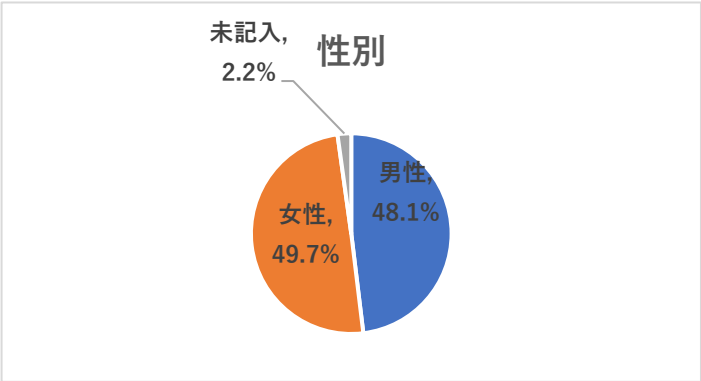
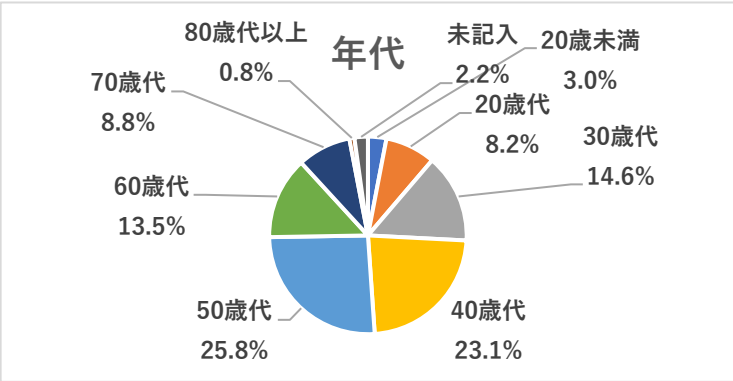
・令和 4 年 5 月に気仙沼市内の宿泊者を対象にアンケートを実施した。(回答者数:364 人)

(1)全体

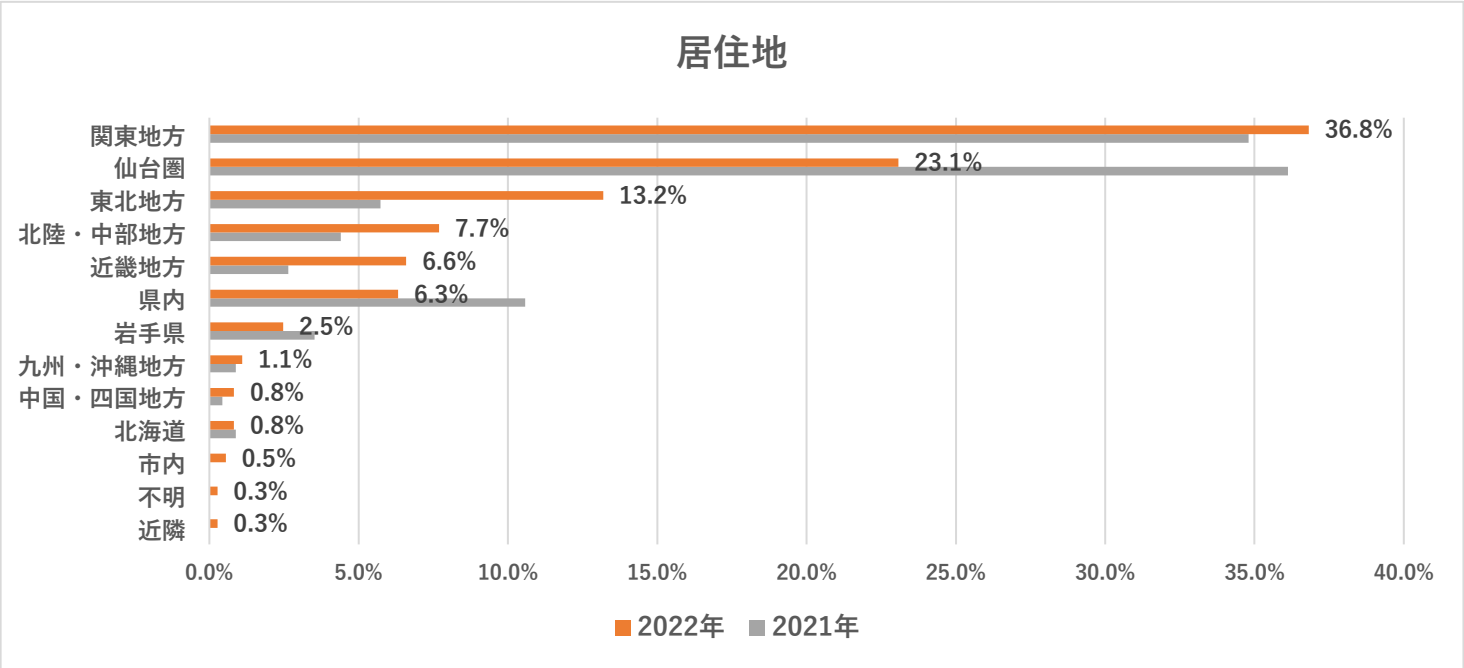
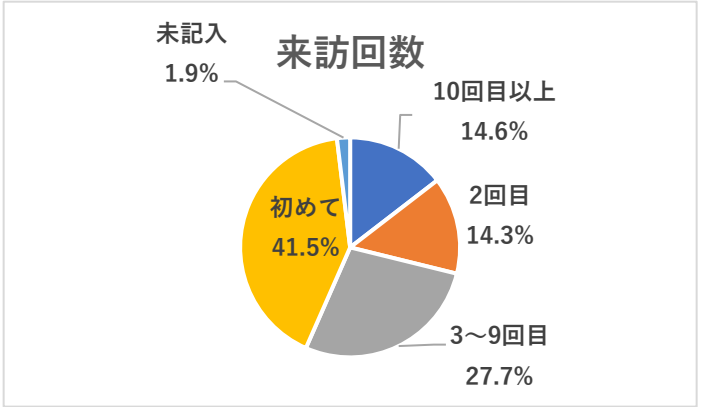
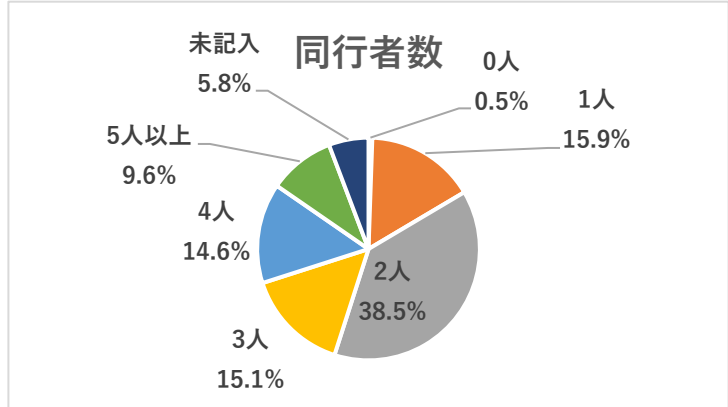
<気仙沼市への来訪者特徴『属性&同行者数』>

- ・回答者は、「50 歳代」が最多であり、40 歳代も多い結果であった。
- ・同行者については、「2 人」と回答した割合が 38.5%と最も多く、来訪回数は「初めて」が最多であった。
- ・居住地は「関東地方」が最多の結果となった。

①属性



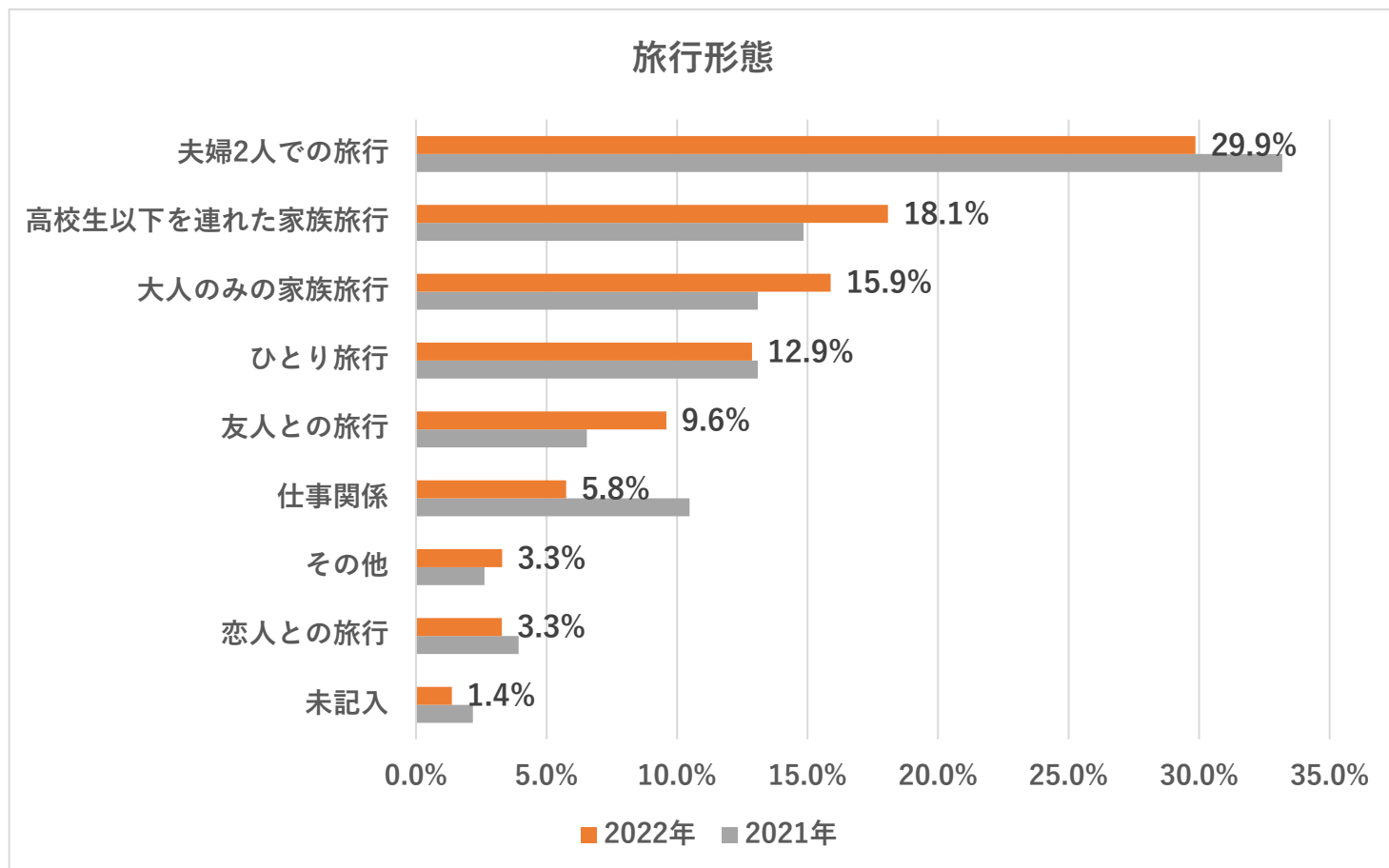
②同行者数・来訪回数・居住地



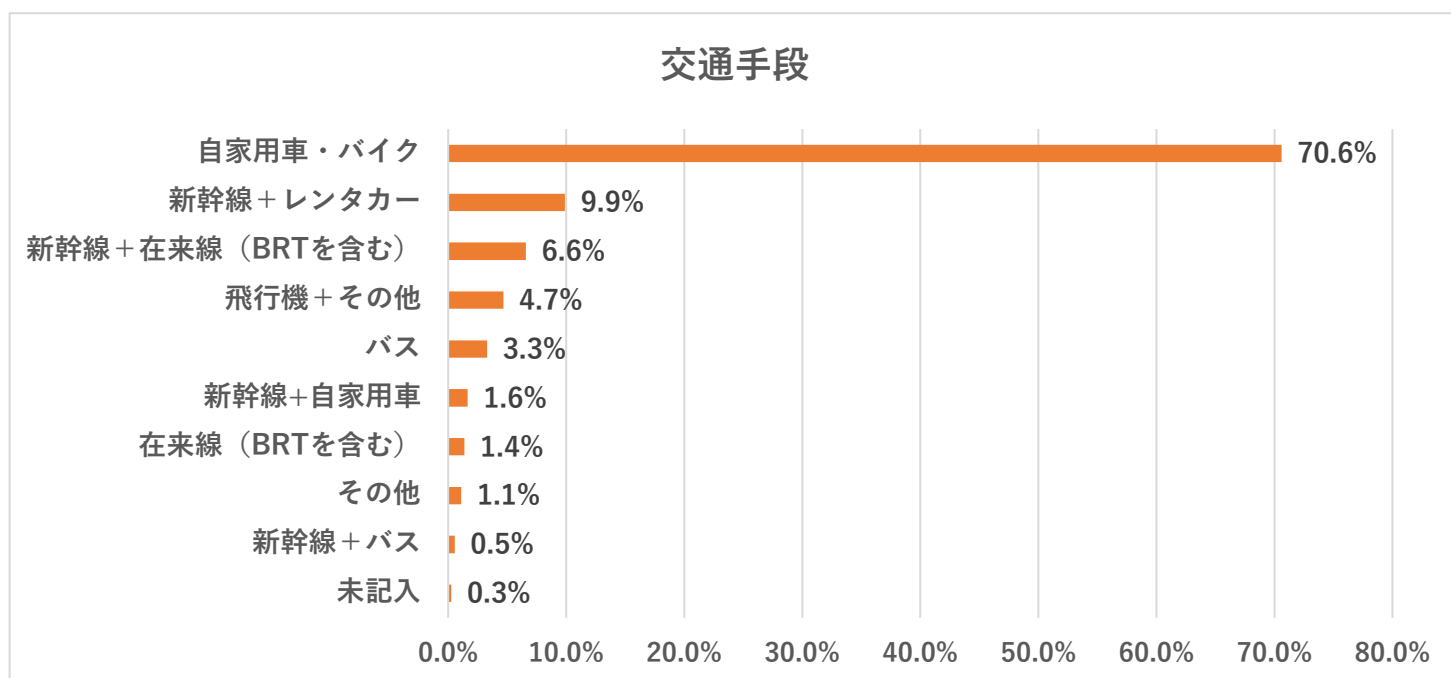
＜気仙沼市への来訪者特徴『旅行形態＆交通手段』。

- ・同行者形態は全体では「夫婦 2 人での旅行」が 29.9%と最も多かったが、前年よりは減少した。
- ・「高校生以下を連れた家族旅行」、「大人のみの家族旅行」、「友人との旅行」の割合が前年より増加した。
- ・交通手段は全体では「自家用車・バイク」が 70.6%と最も多かった。

③旅行形態



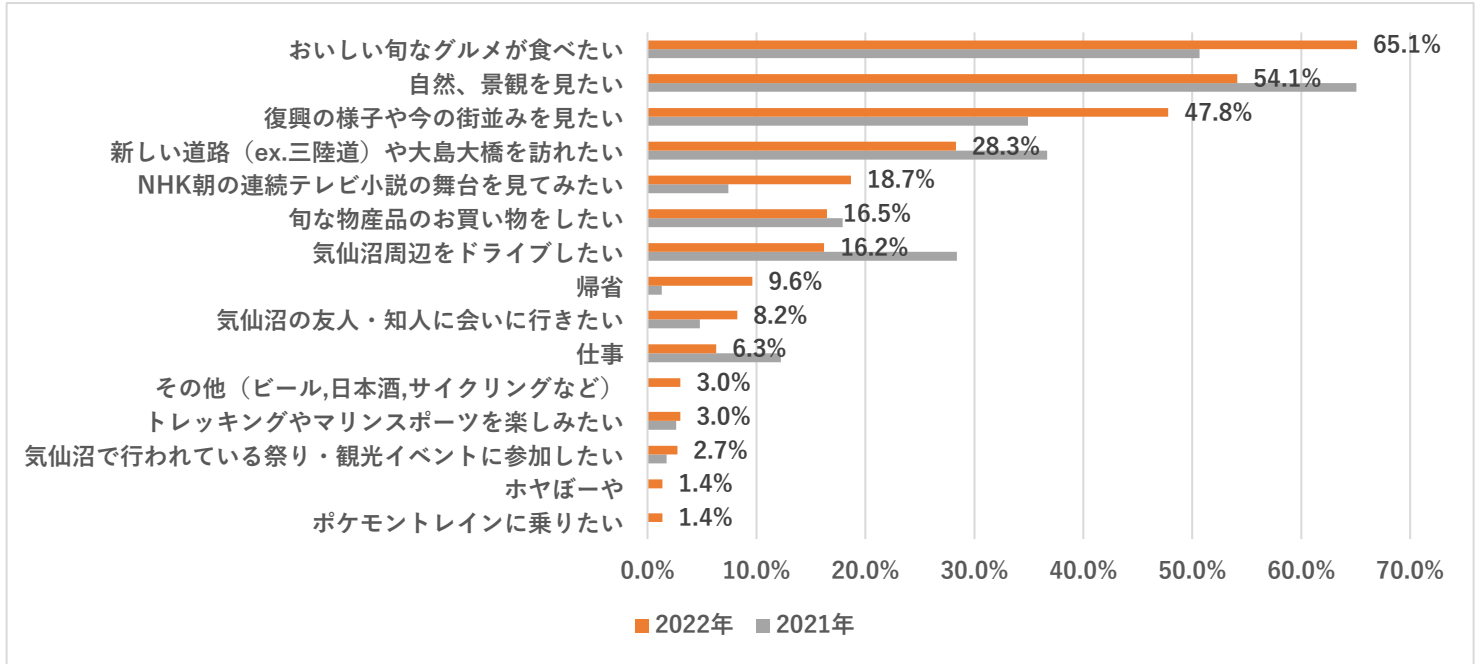
④交通手段



＜来訪目的分析『目的』＞（複数回答）

- ・全体の来訪目的は「グルメ」が65.1%とトップで、「自然景観」（54.1%）,「復興関連」（47.8%）と続いた。
- ・「自然景観」,「道路・橋」,「ドライブ」の割合が前年より減少した。
- ・「復興関連」,「朝ドラ」が前年より増加したが、関東地方が増加したことが要因として考えられる。

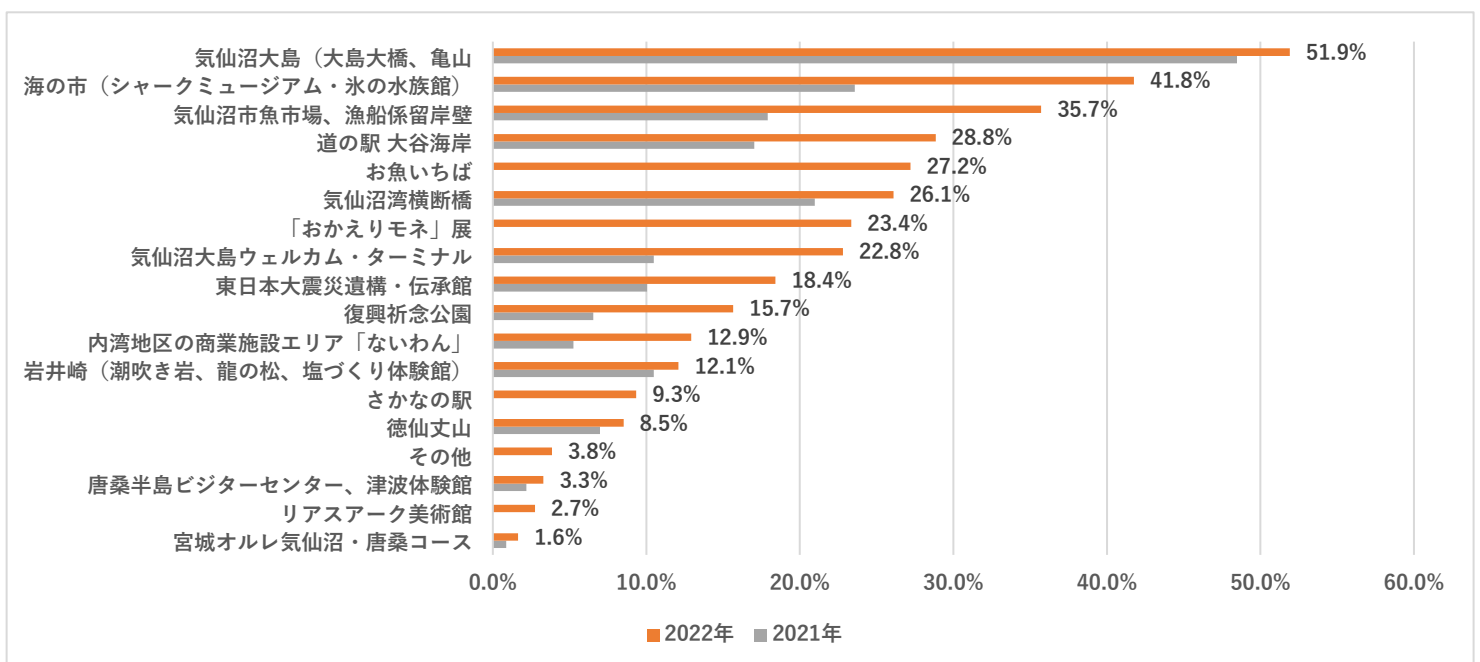
⑤来訪目的



⑥来訪の目的となったスポット

＜来訪目的分析『目的スポット』＞

- ・既に行った、またはこれから行く予定のスポットについては、「気仙沼大島」が 51.9%とトップで、「海の市」（45.5%）,「魚市場」（35.7%）と続いた。
- ・全体的に前年よりも目的スポットが増加している。

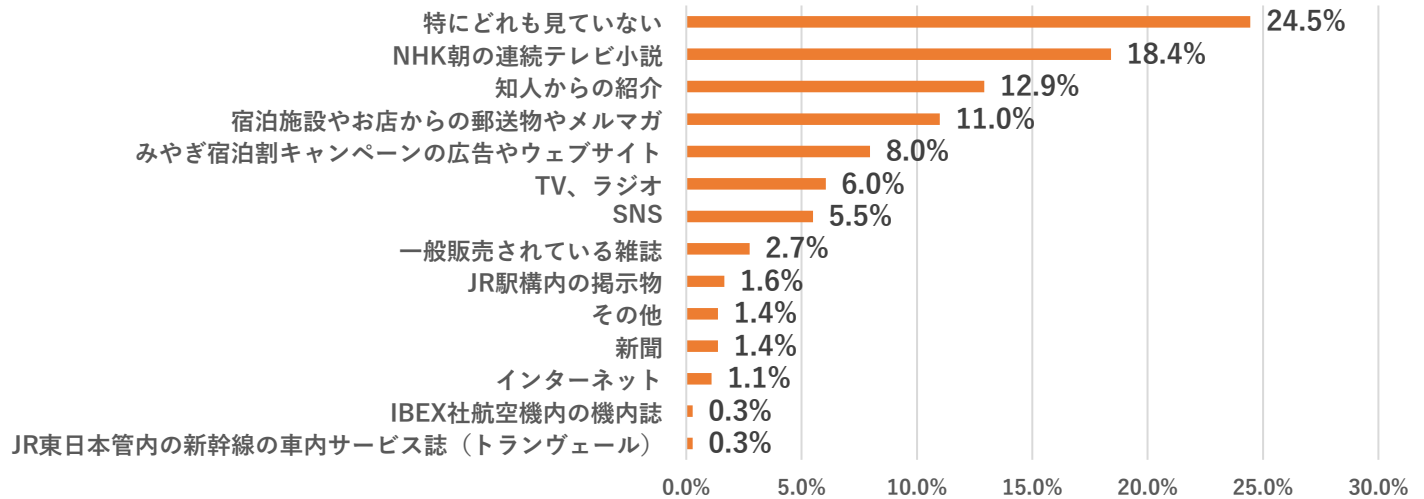


<来訪目的分析『来訪のきっかけとなった情報・参考になった情報』>

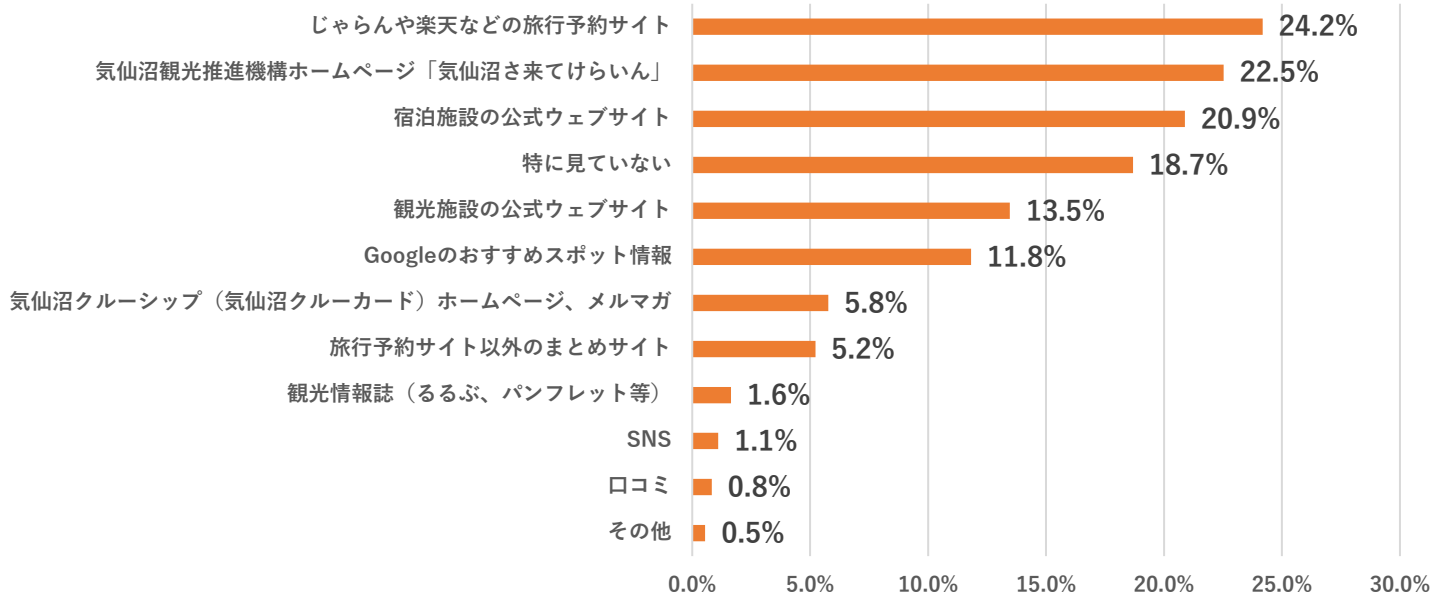
- ・関東地方からの来訪者が多く、「朝ドラ」からの来訪きっかけが多い結果であった。
- ・参考にしたものとして全体では「OTA」、「来てけら」、「宿泊施設のウェブサイト」が多かった。
- ・市のポータルサイトは遠方の来訪者にとって、これまでと同じくより参考になっていると考えられる。

⑦来訪のきっかけとなった情報

来訪のきっかけ



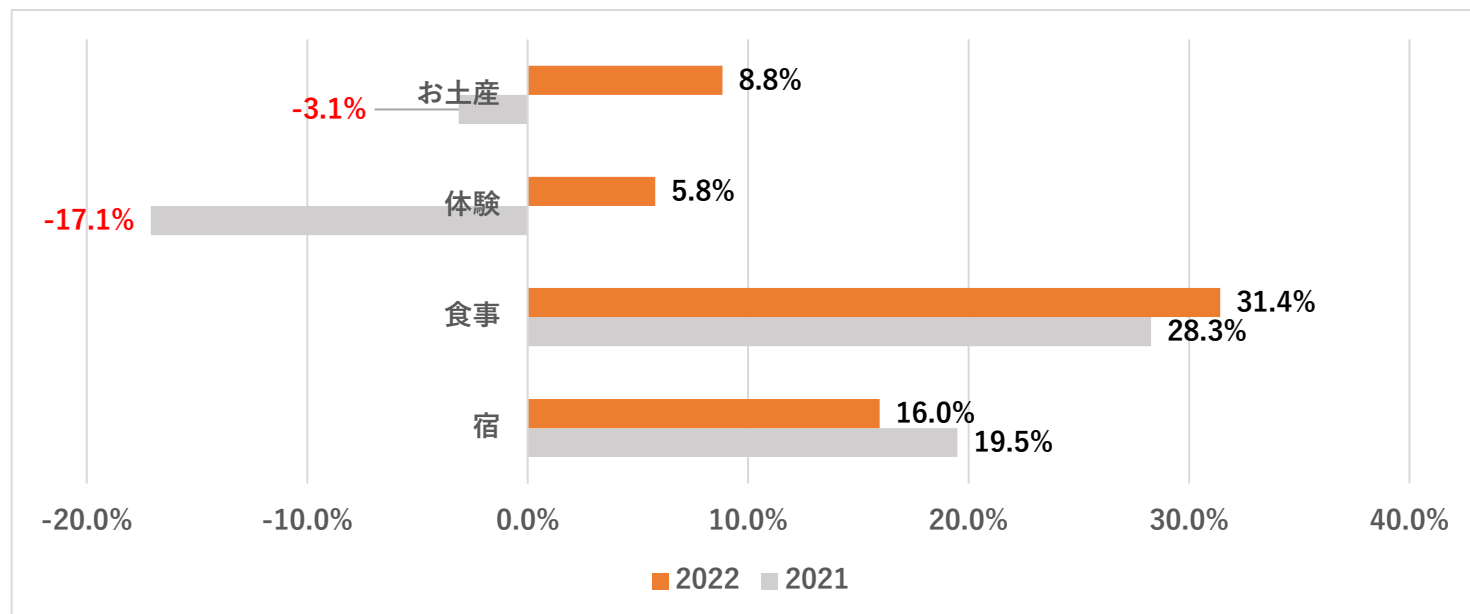
参考になったもの



<来訪目的分析『NPS』>

- ・食事と宿泊施設の NPS は高い結果となり、食事は前年より高い結果であった。
- ・引き続き「お土産」と「体験」が課題となった。

⑦NPS(体験・観光/お土産/食事/宿泊施設)



NPS：顧客ロイヤリティを測る指標。「あなたはこの企業(製品/サービス/ブランド)を友人や同僚に薦める可能性は、どのくらいありますか?」という質問を行い、0~10 の 11 段階で評価をしてもらう。

Net Promoter Score (ネットプロモータースコア) の略。

(参考：NTT コム オンライン)

3. 物販施設(レジ通過者数)

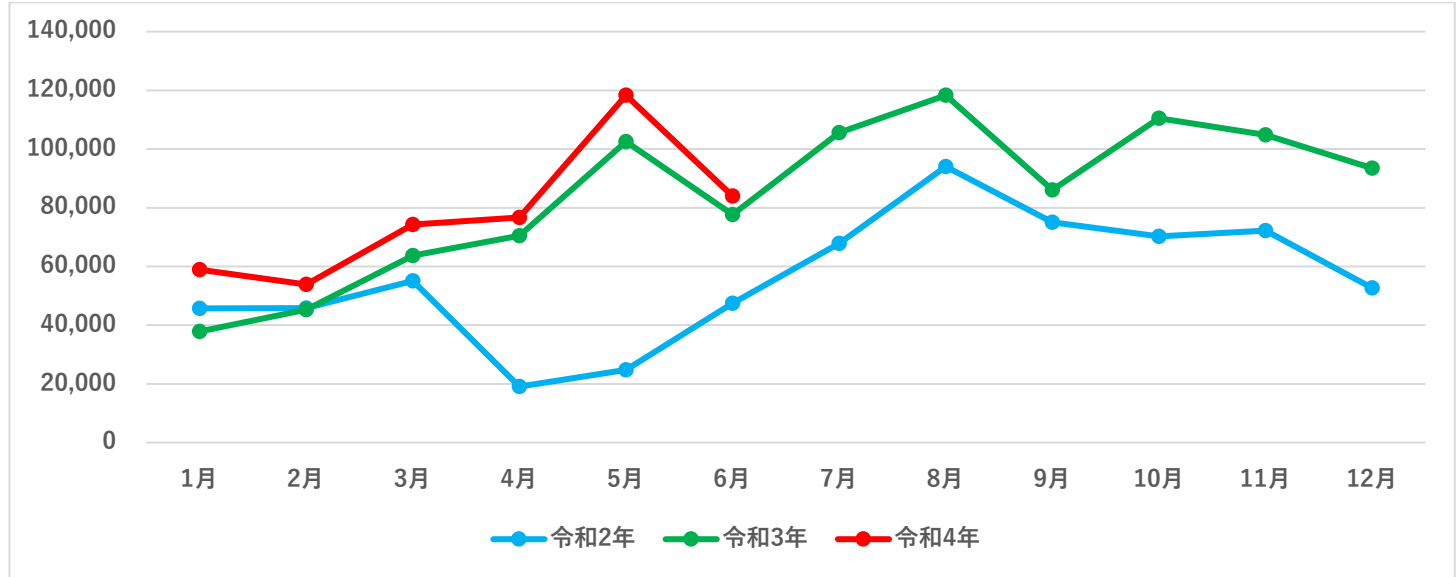
＜物販施設ピックアップ＞

- ・レジ通過者数の前年比, 4 月で 108.7%, 5 月で 115.4%, 6 月で 108.1%と全ての期間で増加した。
- ・3 か月間の通算の前年対比では, 施設 A は 130.1%, 施設 B は 115.1%, 施設 C は 87.6%, 施設 D は 101.2%であった。施設 B 以外は前年を上回った。
- ・1～3月では前年を上回り, 移動年計でも前期同様に右肩上がりで推移している。

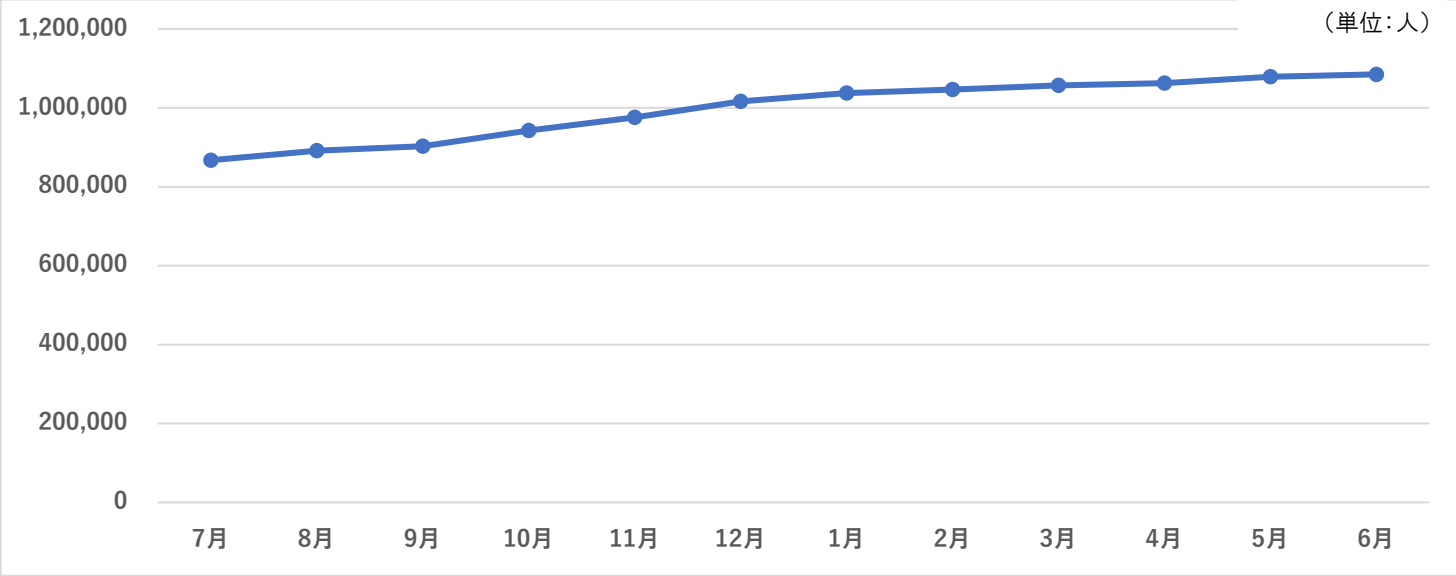
(1) 同月前年比 (単位: 人)

物販施設	令和 2 年				令和 3 年				令和 4 年			
	4 月	5 月	6 月	期間合計	4 月	5 月	6 月	期間合計	4 月	5 月	6 月	期間合計
施設 A	4,721	3,316	24,255	32,292	19,715	39,205	25,410	84,330	27,046	51,769	30,936	109,751
施設 B	9,839	18,417	17,800	46,056	12,756	18,742	16,402	47,900	14,443	22,239	18,459	55,141
施設 C	2,358	0	2,724	5,082	13,673	15,545	13,627	42,845	12,810	12,676	12,048	37,534
施設 D	2,157	3,039	2,713	7,909	24,367	28,999	22,261	75,627	22,381	31,619	22,598	76,598
総計	19,075	24,772	47,492	91,339	70,511	102,491	77,700	250,702	76,680	118,303	84,041	279,024

(2) 年間推移 (単位: 人)



(3) 移動年計



4. 観光施設(利用人数)

<観光施設ピックアップ>

- ・観光施設の利用人数の同月前年比は、4 月 145.3%、5 月 153.9%、6 月 143.1%とすべての月で増加した。
- ・特に「伝承館」および「海の市の 2 施設」が特に増加した。
- ・5 月の実績は昨年の最も多い月の実績を超える実績を記録した。

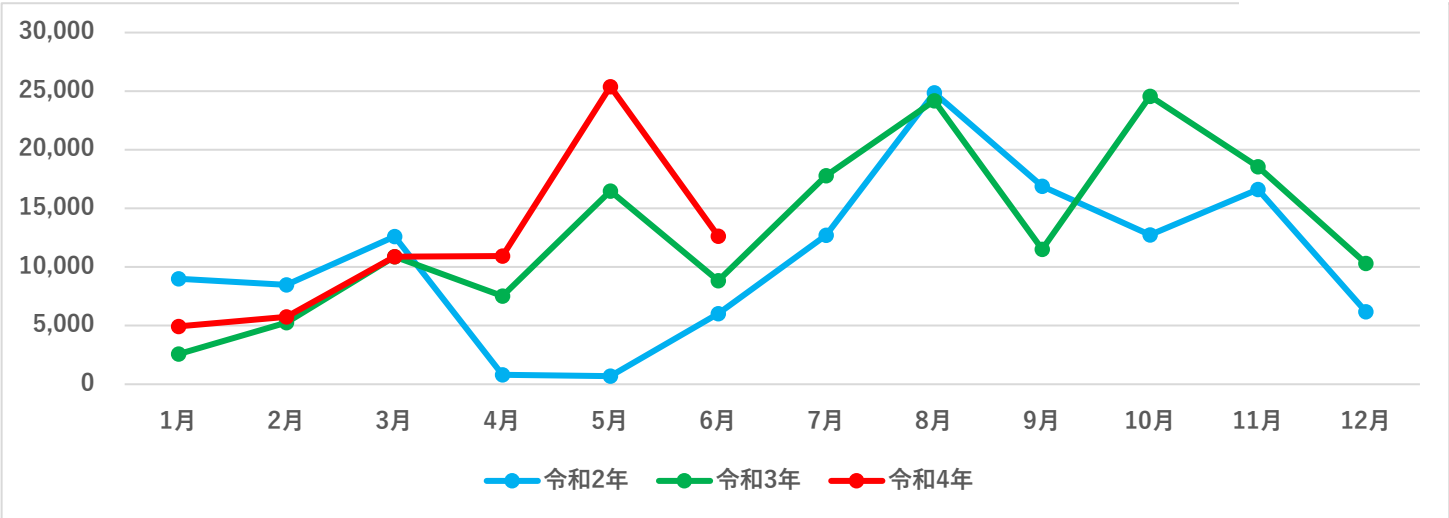
(単位:人)

観光施設	令和 2 年				令和 3 年				令和 4 年			
	4 月	5 月	6 月	総計	4 月	5 月	6 月	総計	4 月	5 月	6 月	総計
リアスアーク	140	142	254	536	1,379	2,025	1,432	4,836	1,575	2,346	1,636	5,557
シャークミュージアム	197	267	1,881	2,345	1,716	4,683	2,135	8,534	2,750	6,807	2,872	12,429
唐桑半島ビジターセンター・津波体験館	92	0	579	671	659	1,475	755	2,889	686	1,357	936	2,979
氷の水族館	175	283	1,859	2,317	1,479	4,135	2,045	7,659	2,572	5,939	2,732	11,243
東日本大震災遺構・伝承館	211	0	1,447	1,658	2,295	4,174	2,456	8,925	3,362	8,946	4,454	16,762
総計	815	692	6,020	7,527	7,528	16,492	8,823	32,843	10,945	25,395	12,630	48,970

※令和 3 年 4 月より、観光施設名を表記している。

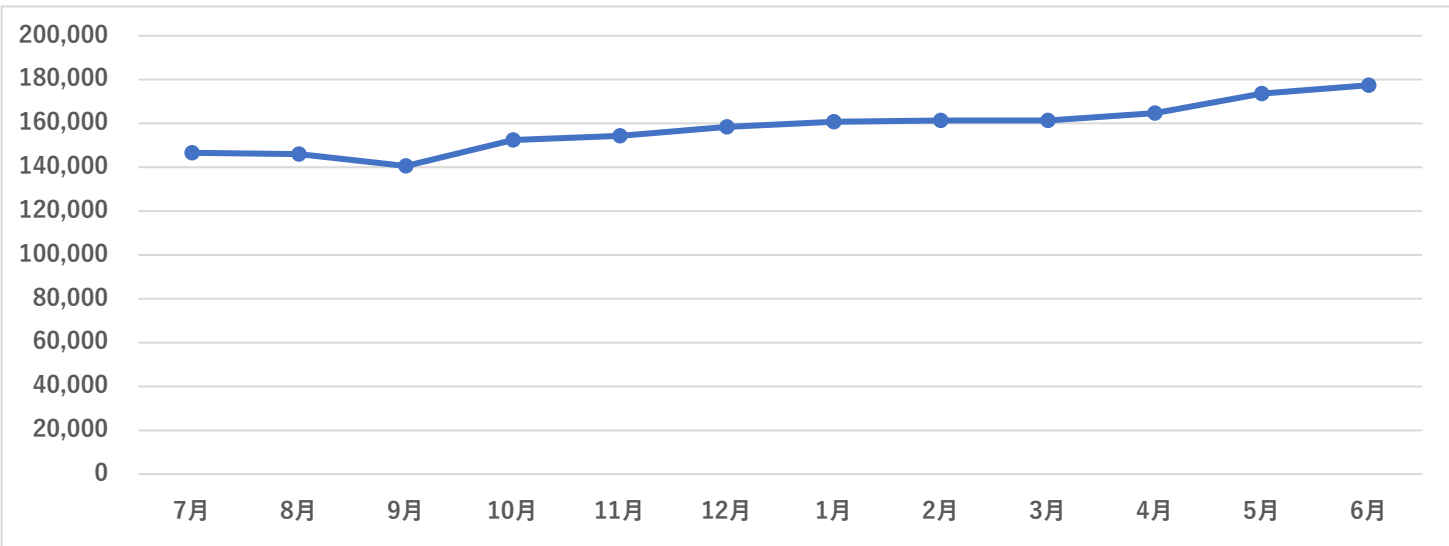
(2)年間推移

(単位:人)



(3)移動年計

(単位:人)



5. 体験・ガイドプログラム

＜体験・ガイドプログラムトピックス＞

- ・体験・ガイドプログラムの全体の体験人数の同時期前年比は、283%と増加した。
- ・体験金額の同時期前年比は、295.2%と増加した。
- ・トレッキングに関しては、5月の仙台市の中学校からの申し込みが非常に多く、同月前年比で人数は188.2%、金額は344.8%の増加となった。
- ・食を楽しむに関しては、4月の塩づくり体験の利用が多く、同月前値比では人数で393%、金額で357.1%の増加となった。
- ・震災・歴史・文化・を学ぶに関しては、前年より利用が多く、語り部(観光協会)、が人数600%、金額が300%、また語り部(伝承館)は人数は261.1%、金額は160%と共に増加した。

(1)体験人数

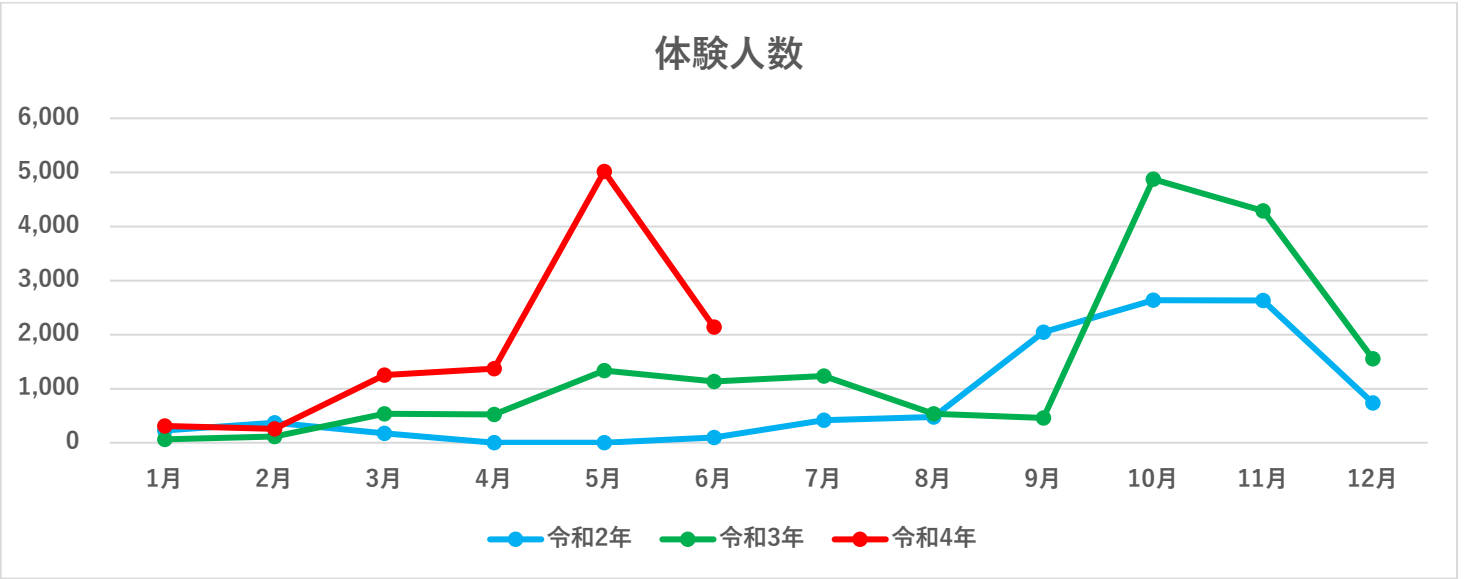
①同月前年比

体 験 人 数 (単位：人)	令和2年				令和3年				令和4年			
	4月	5月	6月	期間合計	4月	5月	6月	期間合計	4月	5月	6月	期間合計
トレッキング	0	0	0	0	10	94	38	142	0	727	125	852
クルーズ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	177	0	177
レジャー・スポーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
食を楽しむ	0	0	43	43	14	200	124	338	61	114	173	348
震災・歴史・文化・を学ぶ	0	0	54	54	499	1,040	972	2,511	1,263	3,762	1,752	6,777
港町を楽しむ(街歩き)	0	0	0	0	0	0	0	0	48	237	86	371
合計	0	0	97	97	523	1,334	1,134	2,991	1,372	5,017	2,138	8,527

※クルーズは現在休止中

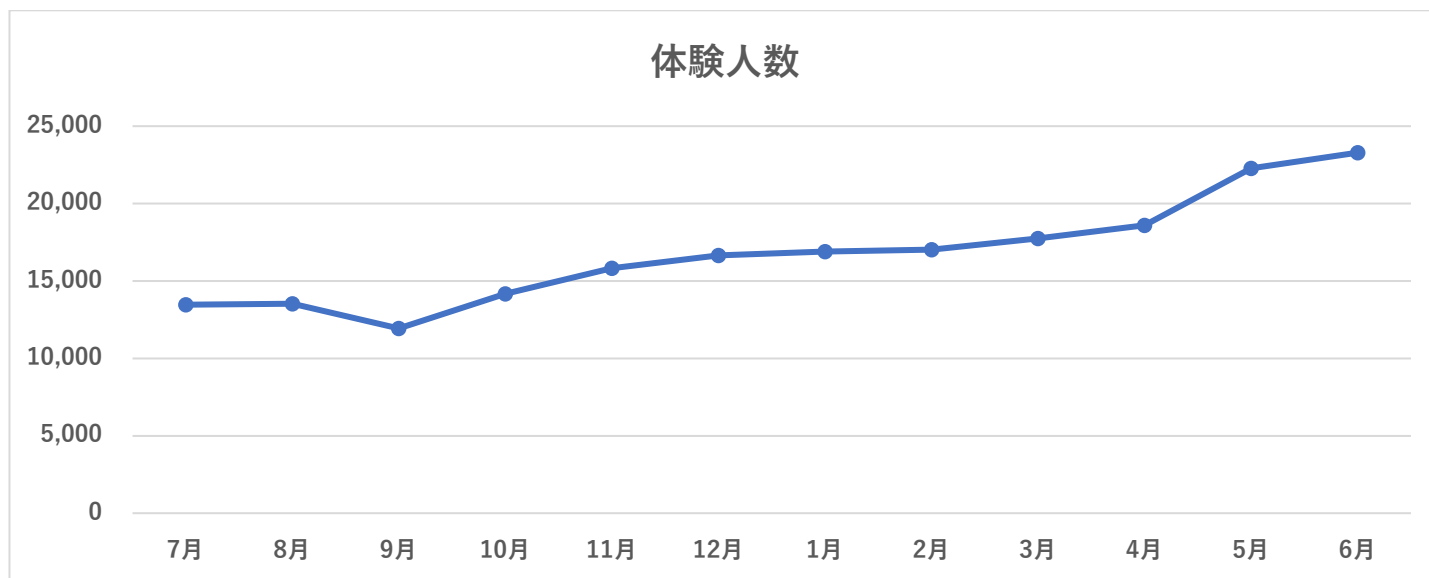
②年間推移

(単位：人)



③移動年計

(単位:人)



(2)体験金額

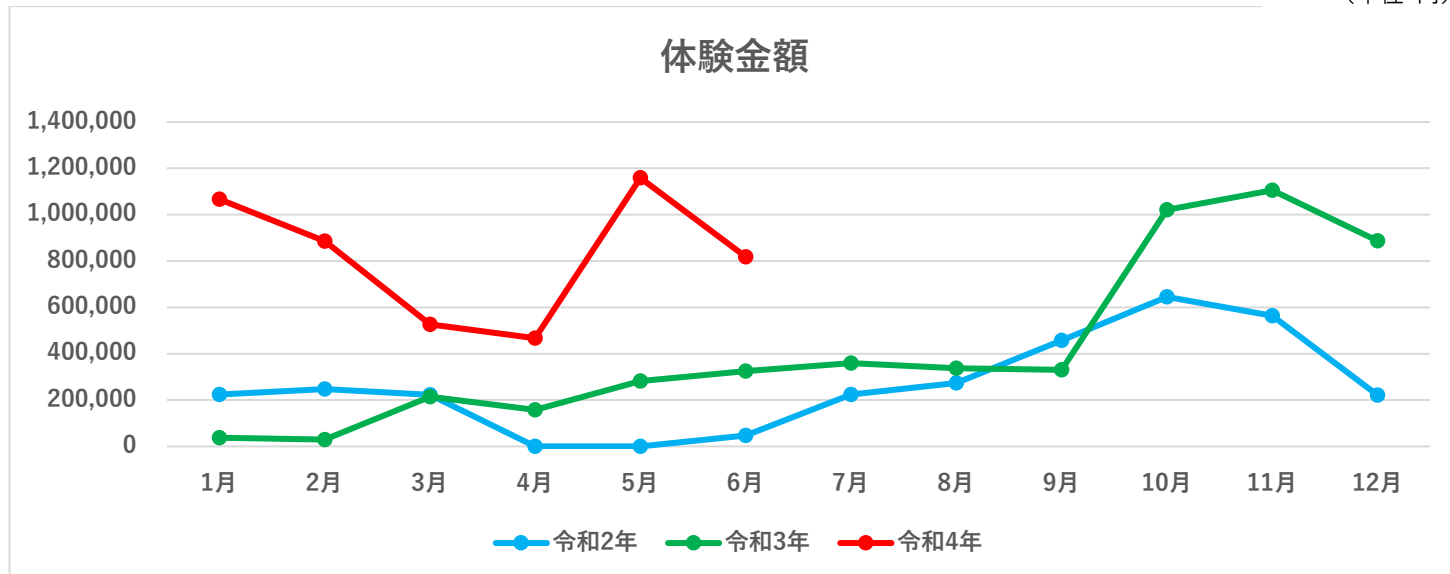
①同月前年比

(単位:円)

体験金額	令和2年				令和3年				令和4年			
	4月	5月	6月	期間合計	4月	5月	6月	期間合計	4月	5月	6月	期間合計
トレッキング	0	0	0	0	10,000	0	11,500	21,500	0	374,500	125,000	499,500
クルーズ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レジャー・スポーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,000	12,000
食を楽しむ	0	0	28,700	28,700	7,000	22,000	50,000	79,000	77,920	444,500	120,500	642,920
震災・歴史・文化・を学ぶ	0	0	19,000	19,000	141,000	260,000	263,000	664,000	347,920	296,000	552,000	1,195,920
港町を楽しむ(街歩き)	0	0	0	0	0	0	0	0	41,200	43,500	8,400	93,100
合計	0	0	47,700	47,700	158,000	282,000	324,500	764,500	467,040	1,158,500	817,900	2,443,440

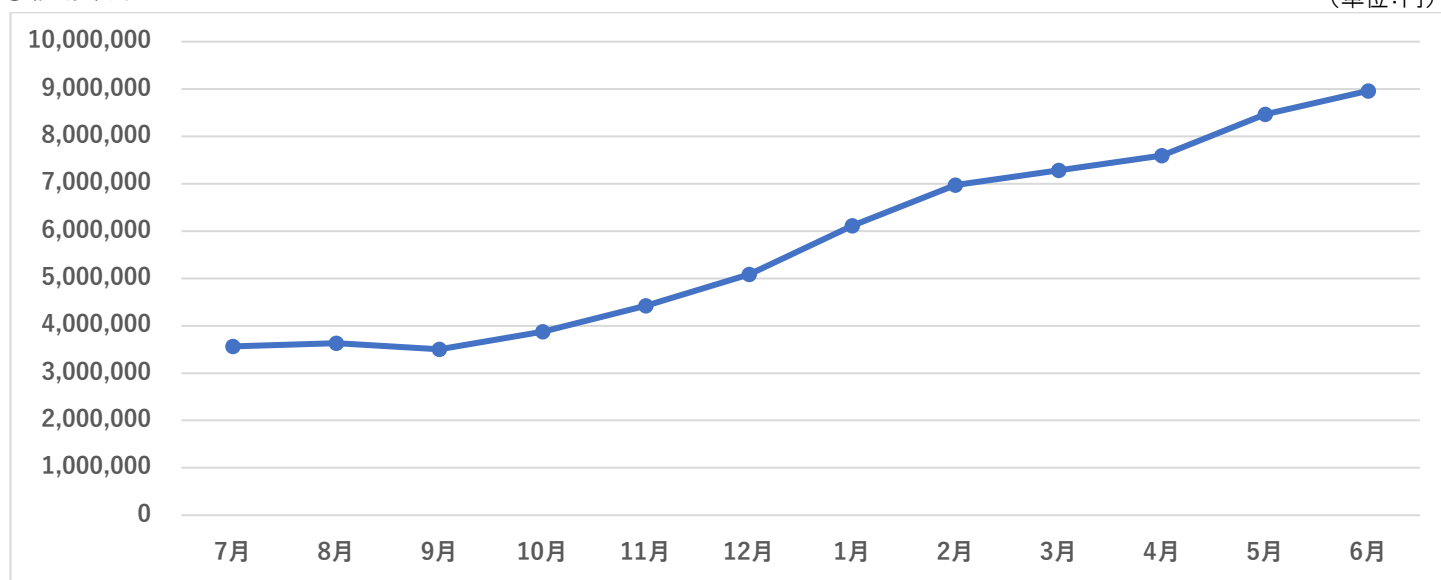
②年間推移

(単位:円)



③移動年計

(単位:円)



6. 観光案内所

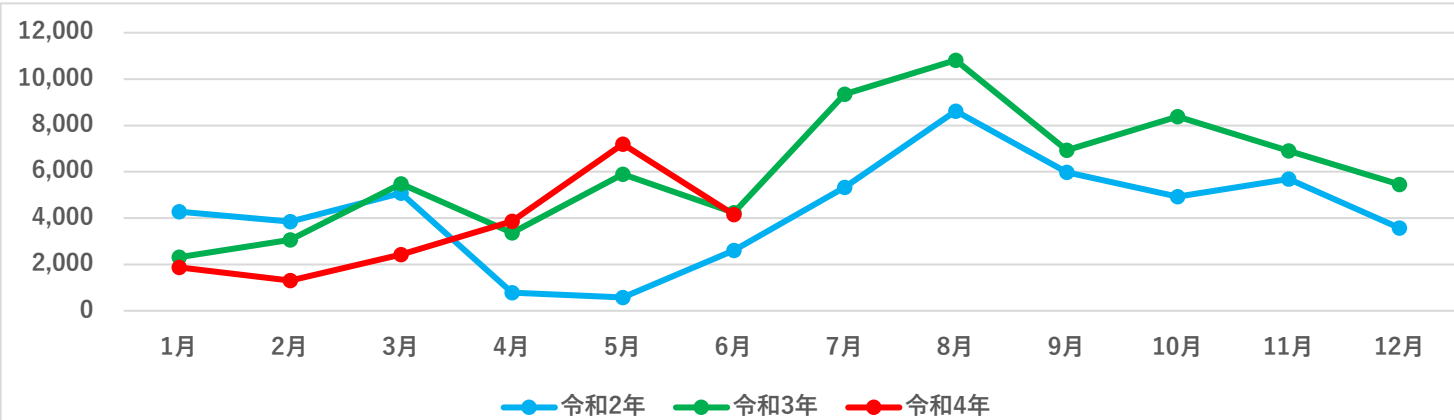
＜観光案内所トピックス＞

- ・「海の市観光サービスセンター」の前年対比は、4月で131.2%、5月で106.1%、6月で80.4%であった。
 - ・「駅前観光案内所」の前年対比は、4月で86.6%、5月で194.3%、6月で157.4%であった。
 - ・問い合わせに関しては徳仙丈山のつつじに関する物がもっとも多く見られた。特に交通関係の問い合わせが多かった。
 - ・同月前年度比でサービスセンターは6月、駅前観光案内所は4月に低下傾向が見られた。
- 6月に駅前案内所が大きく伸びているのは大人の休日プランの影響が大きいと考えられる。

(1) 利用人数 (単位: 人)

観光案内所	令和2年				令和3年				令和4年			
	4月	5月	6月	期間合計	4月	5月	6月	期間合計	4月	5月	6月	期間合計
観光サービスセンター	616	551	2,138	3,305	2,137	4,818	3,264	10,219	2,805	5,116	2,626	10,547
来訪客	309	193	1,754	2,256	1,639	3,993	2,619	8,251	2,020	4,052	1,755	7,827
電話紹介	307	358	384	1,049	498	825	645	1,968	785	1,064	871	2,720
駅前観光案内所	164	26	473	663	1,224	1,070	971	3,265	1,060	2,080	1,529	4,669
来訪客	145	0	411	556	1,184	1,024	905	3,113	993	1,908	1,402	4,303
電話紹介	19	26	62	107	40	46	66	152	67	172	127	366

(2) 同期間推移 (単位: 人)



(3) 移動年計 (単位: 人)

